



ジャパンラグビートップチャレンジリーグ2017メンバー表

2017/12/16
11:30 Kick Off
コカ・ウエスト

リーグ戦 2ndステージBグループ第2節

マツダブルーズーマーズ (Host)			中部電力 (Visitor)		
合計得点	前半	後半	前半	後半	合計得点
			T		
			G		
			PT		
			PG		
			DG		
			計		

レフリー
アシスタントレフリー

マツダブルーズーマーズ						
#	Pos.	氏名	資格	年齢	身長/体重	出身/所属
1	PR	小ヤナギ(木に如)友徳		25	177/118	報徳学園高校 → 東海大学
2	HO	高見 優太		26	175/110	神戸科学技術高校 → 大阪体育大学
3	PR	金光 大生		26	168/105	安芸南高校 → 天理大学
4	LO	米本 侑人		28	182/98	大阪桐蔭高校 → 近畿大学
5	LO	栗栖 真也		32	188/103	崇徳高校 → 帝京大学
6	FL	サミュエル・フィグ	F	25	194/100	シドニー工科大学
7	FL	柏田 裕紀		27	181/98	延岡工業高校
8	No.8	テビタ・コロアマタンギ	F	29	189/105	ネイランド大学
9	SH	後藤 大		24	167/73	東福岡高校 → 立命館大学
10	SO	後藤 大輔		23	174/87	常翔学園高校 → 天理大学
11	WTB	村澤 大洋		24	174/91	下伊那農業高校 → 帝京大学
12	CTB	植松 真吾		27	176/83	貞光工業高校 → 日本体育大学
13	CTB	ジョー・カマナ	E	26	194/96	フェイザー高校
14	WTB	三好 啓太		33	174/78	松山商業高校 → 帝京大学
15	FB	前田 純		35	172/80	崇徳学園高校 → 京都産業大学
16		永田 亮		22	169/90	同志社大学 → 同社社大学
17		ナカンダカリ 雄一		23	176/115	読谷高校 → 朝日大学
18		大木 丈典		30	179/118	國學院栃木高校 → 帝京大学
19		斉藤 健也		31	186/98	東京高校 → 東海大学
20	Re.	南 宗成	A	25	188/105	大阪朝鮮高級学校 → 明治大学
21		佐久間 隆		32	171/80	啓光学園高校
22		アイザック・トンプソン	E	37	183/93	パーマストンノースボーイズ高校
23		中本 圭介		25	180/86	流通経済大柏高校 → 立命館大学

中部電力						
#	Pos.	氏名	資格	年齢	身長/体重	出身/所属
1	PR	大河原 一真		26	175/105	法政第二高校 → 法政大学
2	HO	齋藤 健		29	180/104	県横須賀高校 → 早稲田大学
3	PR	毛塚 祐貴		27	180/105	國學院栃木高校 → 立命館大学
4	LO	近藤 貴敬		26	180/95	仙台育英高校 → 早稲田大学
5	LO	沢田 陵太		31	185/98	同志社高校 → 同志社大学
6	FL	宮田 脩平		28	179/98	伏見工業高校 → 法政大学
7	FL	永井 若輝		30	174/90	バンボンカレッジ → 帝京大学
8	No.8	古屋 直樹		26	182/98	日川高校 → 明治大学
9	SH	東郷 幹也		30	170/70	同志社高校 → 同志社大学
10	SO	犬飼 涼二		25	183/85	春日丘高校 → 法政大学
11	WTB	川久保 龍太郎		26	172/75	熊本西高校 → 帝京大学
12	CTB	下嶋 智也		31	182/90	東山高校 → 中京大学
13	CTB	牛房 佑輔		29	172/92	福岡高校 → 早稲田大学
14	WTB	勝浦 秋		24	180/95	千種高校 → 早稲田大学
15	FB	柳 佳貴		27	171/75	大津高校 → 帝京大学
16		服部 光		25	170/95	三好高校 → 帝京大学
17		山森 達也		35	170/115	西陵商業高校
18		本間 優		24	172/100	大東文化大学
19		ジャスティン・コベニー	A	32	181/102	ウエスタンシドニー大学
20	Re.	高田 将侑		24	175/95	大分舞鶴高校 → 同志社大学
21		兵頭 水軍		23	169/72	仙台育英高校 → 明治大学
22		濱川 幸市		32	167/75	西陵商業高校 → 法政大学
23		岩井 哲史		29	184/100	桐蔭学園高校 → 早稲田大学

* 背番号の白抜きはキャプテン * 資格は F:外国籍, A:アジア, E:特別 * メンバーは変更になる場合があります。メンバーボードをご確認下さい。

『FOR ALL, FOR EARTH. 日本ラグビー協会は、いつも環境に配慮した活動をめざしています』